

## NO. 09 つながろう！学校と地域



▲学校支援ボランティアを募集しています。お申し込みは、各学校または市学校教育課まで

12月11日、市学校教育課は、第1回茂原市学校支援ボランティア全体研修会を市役所で開催しました。

学校支援ボランティアとは、学校の要望に応じて保護者や地域の方々がボランティアとなって学校を支援する仕組みで、現在521人の方が登録しています。

当日は、各学校の実践報告後、参加者77人が8班にわかれてグループ討議を行い、学校支援ボランティア制度の活性化を図るにはどのようにしたらよいかなどについて、活発な意見が飛び交う熱気あふれる研修会となりました。

## 学校支援ボランティアから三曲を学ぶ NO. 10



▲講師に琴の手ほどきを受ける児童たち

12月17日、学校支援ボランティアの講師7人による「三曲（琴・尺八・三味線）の体験教室」が鶴枝小学校で行われ、同校の6年生児童41人が和楽器の演奏を体験しました。

これは、日本の楽器や音楽への興味や関心を高めてもらおうと毎年実施しているもので、今年で10回目となります。

講師の模範演奏を鑑賞した後、三つの楽器を児童全員が順番に体験。普段触れることのない楽器で初めは思うように弾けなかったものの、何度も挑戦するうちに上手く弾けるようになり、講師とともに喜んでいました。

## 成人の門出を祝福 NO. 06



▲旧友との再会を喜び合っていました

1月12日、成人に達した市民の門出を祝福する「茂原市成人式」が市民会館で行われ、華やかな着物姿やスーツ姿の新成人754人が出席しました。

式典では、田中市長からお祝いの言葉があったほか、新成人代表として藤澤悠理さんと山本哲也さんが挨拶し、家族への感謝や成人としての誓いについて話しました。

## NO. 07 歴史ある「お水かけ」で防火祈願



▲手押しポンプは昭和初期に製造されたもの

1年の防火を祈願する「お水かけ」が1月8日、市内昌平町で行われました。

これは、手押しポンプを使って同町自治会約130世帯に放水するもので、江戸時代から続く新春恒例の行事です。

自治会有志が約2時間かけて町内を一周し、火災予防を呼びかけました。

## 「お的の神事」で今年を占う NO. 08



▲当たった矢の行方により、風、雨、早(かんばつ)、地震の兆しを占います

1月17日、平安時代から続く伝統行事である「お的の神事」が市内山崎の二宮神社で行われました。この行事は約27メートル離れた的に向け、6本ずつ3回に分けて矢を放ち、当たった位置などにより今年1年の天候を占うものです。

今年は18本中7本の矢が的中。「おおむね平穏だが、台風には要注意」との結果がでました。